

# 西小だより



学校の教育目標:よく考え 仲間とともに やりぬく子 合い言葉 ” Yes, we can.”

## 瞳輝く2学期に

校長 岩崎 千宏

例年になく、不安定な天候続きの夏休みでした。全国各地でゲリラ豪雨や落雷によって多くの災害が発生し、プール開放も1日だけしか実施できませんでした。プール当番のために予定を空けていただいた保護者の皆様、そして水泳教室や水泳検定を心待ちにしていた子ども達にも申し訳ない気持ちでいっぱいです。

また、先日のPTA環境整備作業におきましては、子ども達のために熱心に活動いただき、誠にありがとうございました。歴代のPTA役員で組織いただいている「せんだんの会」の皆様には池周辺の掃除や図書室の本棚の修繕等をしていただきました。改めて西小の保護者、地域のチーム力のすばらしさを実感した次第です。

この夏休みに、私は一人の教え子の訃報に接しました。同級生と川遊びをしていた途中、友人のサンダルを取りに川に入って、帰らぬ人となってしまったのです。高校2年生、青春真っ只中のA君の名前をニュース番組で聞いたのは、その日の夜のことでした。彼と接したのは中学校1年から2年までの2年間でしたが、彼と共にした記憶をたどると、穏やかな笑顔しか思い出すことができません。友達思いで優しい人柄は、周囲を温かくなごませてくれる存在でした。お父様は、大勢の参列者に深々と頭を下げ、「私たち家族はいまだに現実を受け入れられないままです。でも、息子は一生分の優しさや思いやりの心を皆様からいただきました。」と述べられました。私は、彼がたくさんの優しさや思いやりの心を周囲に注いできたからこそ、これだけ多くの人から信頼され、最期を見届けていただけたのだと思っています。

若い命が奪われること、教え子を失うことはとてもつらく悲しいことですが、彼から学んだことを自分自身の生き方に生かすこと、「命の尊さ」を教育活動の中で訴え続けることしか私にはできません。A君のような心豊かな子ども達にあふれる西小をめざして尽力する決意を新たにしました。

さて、いよいよ長い2学期がスタートします。1年生と4年生に新しい仲間を迎え、西小は全校257名での再出発です。子ども達は、夏休みの宝物や2学期の決意を胸に希望をふくらませていることと思います。2学期は、「運動会」や「音楽会」、学年行事などを通して、集団の力を高める学期です。昨日の始業式では、「みんなでがんばる、みんなで乗り越える」こと、「自分に厳しく、人に温かく」することをめあてに2学期を送ってほしいと話をしました。

とはいえ、時には、暑い中での厳しい練習に弱音をもらすことがあるかも知れません。こんな時こそ、「支えてくれる人が身近にいるんだ」と実感できる温かい励ましの言葉がけを是非ともお願いします。私たち職員も、子ども達の『命の輝き』、『瞳の輝き』が保護者や地域の皆様には様々な行事の中でお伝えできるよう、精一杯努力していく所存です。1学期に引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



【川辺町小中サミット】 8/3 中央公民館  
児童会執行部の皆さんが本校の取組の様子を堂々と伝えてくれました。